会員法人の皆様へ

まほろば幸いネット通信

第 19 号
R4. 8. 24 発

1．通信“再開”のお知らせ

永らくの間、休刊しておりました「まほろば幸いネット通信」を再開いたします！

本県では、改正社会福祉法において位置づけられた「社会福祉法人の地域における公益的な取り組み」を推進すべく、一法人や一事業所の枠を越え、県内の社会福祉法人等が連携・協働して、地域の様々な課題に対応することを目的に、平成 28 年 6 月に「奈良県社会福祉法人共同事業（まほろば幸いネット）」を立ち上げました。 以降、会員法人の皆様と具体的な支援の仕組みについて検討を重ね、まほろばレスキュー事業、まほろばユニバーサル就労事業、まほろば地域食堂事業などに取り組んできました。

昨今、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化・深刻化し、「暮らしづらさ」を抱える住民が増大しているなかで、県内の社会福祉法人においては、これまで実施していた地域課題への取り組みや活動が、感染拡大防止のために中止や縮小、実施内容の変更等を余儀なくされています。

こういった状況を踏まえ、コロナ禍による新たな地域課題や真に支援が必要な方々に対し、今一度、社会福祉法人が有する専門性や人材・機能を活かし、ウィズコロナ社会における地域貢献活動を再興することを目的に、下記のアンケートを実施しました。

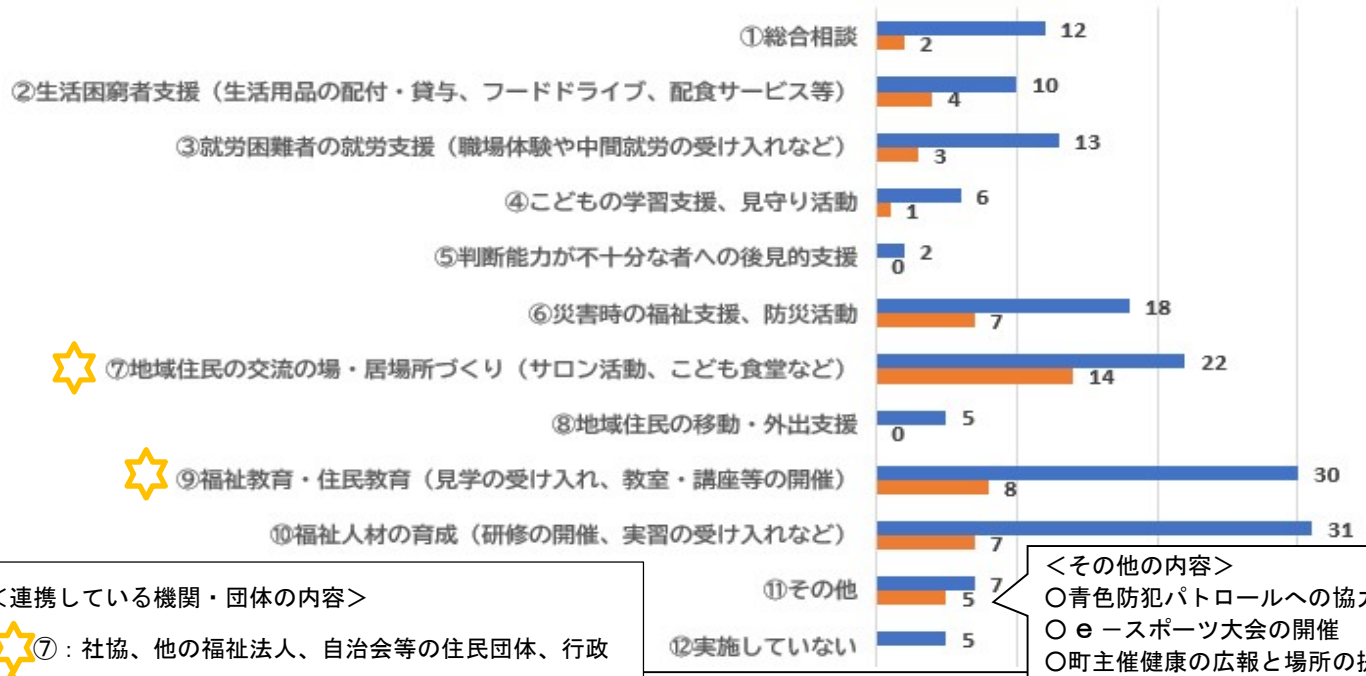
2．「社会福祉法人の地域貢献活動に関するアンケート調査」概要報告

令和3年度末に実施しましたアンケート調査に対しては、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。集計が整いましたので、本通信にて順次、結果概要を報告させていただきます。

〇調査対象：県内社会福祉法人（施設法人）187法人
〇回収状況：49法人（まほろば幸いネット加入法人27、非加入法人22＜回収率26．2%＞）

1)法人において取り組んでいる地域貢献活動について（複数回答）

※下段の数値（オレンジ色のグラフ）は、うち、他機関・団体と連携して実施している法人数

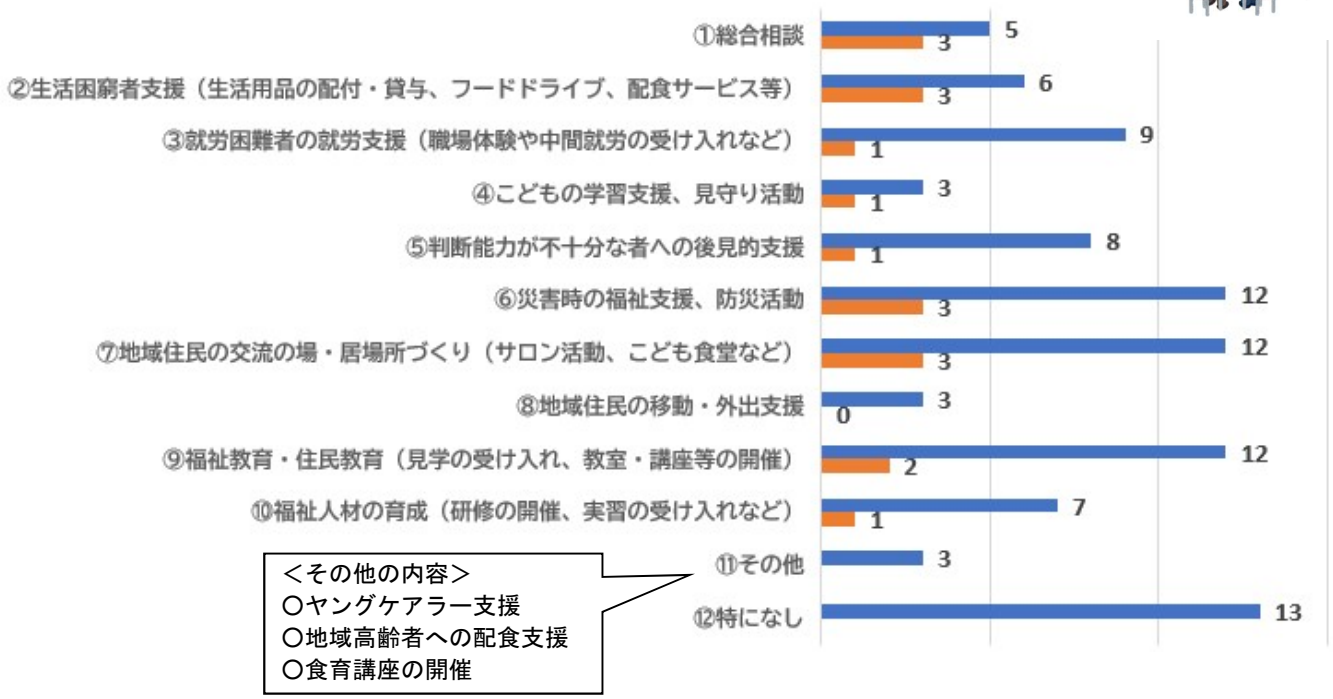


＜連携している機関・団体の内容＞
⑦：社協、他の福祉法人、自治会等の住民団体、行政
⑨：社協、民生児童委員協議会、行政、地域の学校

＜その他の内容＞
〇青色防犯パトロールへの協力
〇ｅ－スポーツ大会の開催
〇町主催健康の広報と場所の提供
〇駅前花壇の管理、育児相談　等

2)法人において今後取り組みたい地域貢献活動について(複数回答)

※下段の数値（オレンジ色のグラフ）は、うち、他機関・団体と連携実施を希望する法人数



1）法人において取り組んでいる地域貢献活動に関しては、
「福祉人材の育成（研修の開催、実習の受け入れなど)」、「福祉教育・住民教育（見学の受け入れ、教室・講座等の開催)」が多く、回答法人の６割程度が取り組んでいます。
　これらに次いで「地域住民の交流の場・居場所づくり（サロン活動、こども食堂等)」の活動となっています。
　活動実施時の連携先としては、市町村社協、他の社会福祉法人、行政などがあげられています。

2）法人において今後取り組みたい地域貢献活動に関しては、
　上記の“取り組んでいる”活動で回答が多かった「福祉人材の育成」、「福祉教育・住民教育」に加え、「災害時の福祉支援、防災活動」に取り組みたいと回答した法人がいずれも１２法人と最も多くなっています。また、いずれの項目においても、他機関・団体との連携実施を視野に入れている法人があることがうかがえます。

　次号では、法人として対応が必要と考える「コロナ禍における地域ニーズ、地域課題」や「コロナ禍で地域貢献活動を実施する際の課題」について、寄せられた自由記述の回答をご紹介する予定です。

　本通信の内容についてお気づきの点、ご意見等がございましたら、下記事務局までご連絡をいただければ幸いです。

★まほろば幸いネット加入状況【令和４年８月24日現在】----------

９０法人（施設法人６９、社協２１）

発行：奈良県社会福祉法人共同事業　事務局（奈良県社協　総務企画課内）
〒634-0061 橿原市大久保町 320-11　TEL：0744-29-0100／FAX：0744-29-0101
E-mail：soumu@nara-shakyo.jp　HP：https://www.nara-shakyo.jp/publics/index/155/